

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7012	(H.22)No.	7012
-----------	------	-----------	------

事務事業名		水道事業会計			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		経営総務室		高津祥完	63-4114
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～平成	年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	2	上水道
	小施策	3	健全経営の推進
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード
水道事業会計		(中事業名) 予算書事業名
款		
項	(小事業名)	
目		

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>名張市水道事業基本計画に基づき、業務委託を推進するとともに上水道・下水道部門の連携を強化するなど経営の効率化、合理化を進めます</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>持続可能な水道事業経営及び安心安全な水道サービスの提供</p>
--	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)					
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)			
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 老朽化施設・管の更新・改良等 < H21繰越分 > 資本的支出22,555千円 < H22現年分 > 収益的支出1,553,807千円 資本的支出664,346千円 < H23年度への繰越明許費23,000千円 >	[事業内容(事業量)・事業費] 老朽化施設・管の更新・改良等 < H23現年分 > 収益的支出1,645,221千円 資本的支出1,061,634千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()	
			老朽化施設・管の更新・改良、送配水幹線の耐震化等	老朽化施設・管の更新・改良、送配水幹線の耐震化等	老朽化施設・管の更新・改良、送配水幹線の耐震化等	収益的支出 1,597,535千円 資本的支出 800,000千円	収益的支出 1,626,138千円 資本的支出 800,000千円	収益的支出 1,654,359千円 資本的支出 800,000千円
	直接事業費	(22,555千円) 2,021,837千円	2,477,567千円	2,189,989千円	2,218,592千円	2,246,813千円		
	財源内訳(千円)							
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他()	1,963,226	2,420,046	2,106,389	2,136,300	2,167,626			
一般財源	(22,555) 58,611	57,521	83,600	82,292	79,187			
人工数								
職員	28.00人	27.00人	24.00人	24.00人	24.00人			
臨時職員等	3.00人	4.70人	2.00人	2.00人	2.00人			
概算人件費	(0千円) 196,316千円	229,288千円	207,546千円	207,546千円	207,546千円			
+ 総事業費	(22,555千円) 2,218,153千円	2,706,855千円	2,397,535千円	2,426,138千円	2,454,359千円			

—概算人件費—は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。(実数値)

平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	93.0
	実績		100.3	100.7	98.2		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	56.0
	実績		53.7	54.0	55.8		
活動指標	目標	%	-	-	-	-	2.4
	実績		1.7	1.9	1.7		
考察及び今後の対応方針		総収支比率は、総収益を総費用で除した割合を示し、企業の収益的分析の代表的数値とされています。この比率は、損益計算上、収益で費用を賄うことができるかどうかを示すものであり、健全な経営状況を維持するため、95%以上の比率を目指します。					

6. 事業を取り巻く環境

<p>事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>給水人口の減少、市民の節水意識の向上及び景気低迷による使用量減少により、有収水量の減少が見込まれます</p>	<p>市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>水道料金を上げることは安易過ぎ、施設の老朽化は分かるが収入に見合った支出をするべき。 収入を増やす方法、支出を抑える方法を一般に問いかけてはどうか【パブリックコメント】</p>
---	---

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	経営の合理化・効率化、業務委託の推進
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか できる		クリーンエネルギーの導入調査・研究
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか できる		水道料金・体系の見直し、業務委託の推進
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか できる		
		資源の有効活用(建設副産物の再利用)

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<p>総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)</p> <p>(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 営業部門の外部委託の実施予定</p> <p>(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など さらなる経営の合理化・効率化を実施するうえでの水道料金・体系見直しの検討</p>	<p>特記事項</p>
---	-------------